

ザ・減量

活かせば資源 捨てればごみ

第43号(最終号)

令和8年8月1日

発行

北本市ごみ減量等推進市民会議

編集総務広報委員会

TEL048-594-5553(北本市役所環境課)

回
覧

ごみ減量等推進市民会議は、2026.9.30をもって閉会します

多くの市民とともに活動
してきた32年間、ご協力
ありがとうございました。



平成7年7月2日「ごみ減量等推進市民会議」
設立総会(会員155名)発足。

①市民、業者、行政が一体となった組織
(対等な立場で一緒に活動する組織)

②各自治会からごみ減量推進員を推薦
「地域ごみスペシャリスト」養成。
自治会長の負担緩和を考慮。

「活かせば資源、捨てればごみ」
「一日一人50gのごみ減量」が合言葉
ごみ減量等推進市民会議、市民、北本市の三者で
役割分担(市民主導型の市民会議)

卵1つ分

北本市長 三宮幸雄氏 ご挨拶

北本市ごみ減量等推進市民会議の解散にあたり、
長年のご尽力に心より感謝申し上げます。

皆様が先頭に立ち取り組んでこられたごみ減量
や環境啓発活動は、本市の環境施策の確かな礎と
なり、市民の意識を大きく変えました。

組織としての活動は終了しますが、皆様が築か
れた高い志と功績は、今後の市の行政に深く息づ
き引き継がれていきます。

これまでの多大なご貢献に深く敬意を表すると
ともに、皆様の益々のご健勝を祈念いたします。

「北本市民が吉見町の皆さんに感謝をし、
日々減量の意識を持っていただきたい…」

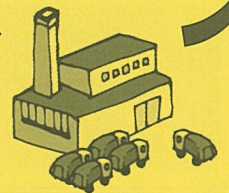
あらゆる施策でごみ減量を!
当時、みな同じ想いで設立準備しました

*家庭から毎日のように出される 燃やせるごみ

➡ 埼玉中部環境センターで焼却されます

ごみを処理してもらうことで、衛生が保たれる等
利益を私たちは得ていますが…周辺の住民の方
にとっては、迷惑施設といわれ忌避されます。

この施設は、当時、近隣の住民から、
猛烈な反対があり、
裁判・厳しい和解条件のもとでの
焼却炉建設でした。



ごみ問題は、地球環境問題に発展!

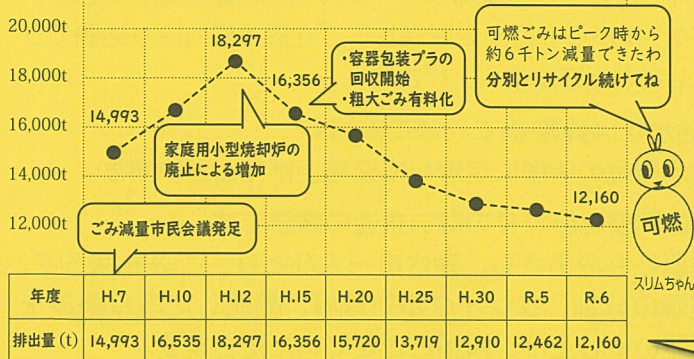
地球温暖化、マイクロプラスチック、水汚染、土壌
汚染、食品ロス、紙おむつの増加、PFAS、リチウム
イオン電池など…

私たちの住む地球に負荷をかけています。

ごみを買わない。ごみをつくらない。ごみにしない

北本市の分別を守りごみ減量しましょう!

北本市の燃やせるごみの排出量の推移



30年で ごみが約3000ト減りました!

裏
へ

ごみ排出 一口メモ

- ◆生ごみの水切り、草や枝木は乾かしてから袋に。
- ◆燃やせるごみ袋に、プラスチックは入れない。
- ◆紙は、汚れや臭いの無い物はリサイクルに。
(紙にホチキスが付いていても出せます)
- ◆セトモノ・油の容器は燃やせないごみに。



- ◆ごみ袋にも重さがあり大袋にガサガサはやめて
⇒小さいサイズにギュと詰めて出そう。
- ◆資源としてリサイクルに出すものは、汚れていないこと (ペットボトル・ビン・缶はすすぎ容器包装プラは食品が付いていないように)。
- ◆資源は自治会などの回収に出しましょう。自治会に資源回収奨励金が出ます。

ごみ減量推進員中心に見学会にH20年～
1500人が参加

ごみ減量推進員 4支部合同施設見学会 2026.2.25

『ごみは、我が家から出すとサッパリしますが、集積所→最終処分まで人手もかかる大変な作業です』

《視察先》：下野市ウィズペットボトルリサイクル株式会社

- ◎平成5年、日本初ペットボトルのリサイクル再生事業を目的とした施設。
- ◎栃木・埼玉・群馬・福島県14市町村の容器包装処理8000t(令和4年度)。
北本市では、約860t搬入→ペレット生成等の材料として810tを排出。
- ◎プラスチックごみは

➡マテリアルリサイクル(材料リサイクル)、ケミカルリサイクルとして再利用。

ベルトコンベアーでの手選別の様子



『容器包装プラスチックの流れ』

各家庭 ➡ 集積所 ➡ 工場へ搬入 ➡ **手選別** ➡ 圧縮梱包 ➡ 搬出 ➡ 再利用リサイクル

↓ 大変な作業!!

袋からすべて出し ➡ ベルトコンベアー乗せ ➡ 人の手によりリサイクル出来るか否か分別

※ ハサミ・カミソリ・注射器・カッター・小型扇風機・電池・他危険物が混入 ※

➡ 人の手による分別のため怪我をします。

👉 **容器包装袋(黄色)へは、対象資源のみ、分別して入れましょう** 北本市異物混入率8%(担当者談)

ごみ減量 出前講座

1. ごみ減量・循環型社会を考える (段ボールコンポスト・プランターコンポスト他)
2. 雑紙リサイクルについて
3. 環境を考える (SDGs・新聞エコバック作り他)

*9月末まで申し込み受付です。少人数でも可(北本市環境課事務局受付)

【北本リサイクル事業協同組合から一言】

北本市は他の市町村より分別の種類が多いと言われることがあります。自分がやらなくても誰かがやってくれるだろうとか、置く場所が無いとかよく耳にしたことがあります。この先日本が抱える資源・ごみの問題は、大きな課題になってきます。国の問題、市町村の問題で片付けるのではなく一人一人が自覚を持って取り組めば、ごみ減量という課題もクリアすることが出来るのではないのでしょうか…



北本市ごみ減量等推進市民会議 会長 谷津英治

今般、当会は、諸般の事情により9月末をもって32年間のごみ減量、資源のリサイクル啓発活動を終了します。平成7年から今日まで皆様からご支援ご協力賜り活動できましたこと感謝申し上げます。

『活かせば資源 捨てればごみ』は北本市民の皆様に着し成果を上げたと思います。

ごみ問題は終わりのない永遠の課題です。循環社会をめざし、皆さま一人ひとり、ごみを減らす、資源の分別、リサイクル処理等、継続した取り組みをお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。